

令和4年度 芸術科 「工芸Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	工芸2（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	●オリエンテーション	●工芸Ⅱについて	工芸Ⅱを学ぶ意義	関心・態度
5	●陶芸	■陶芸について	板づくりの技法を学び、日常、使える作品を制作する。	スケッチ 制作中の作品 活動の様子
6			練習課題（マグカップを制作する）	
7		陶芸制作	学んだ技術を応用して自分の日常で使いたい形を考え、型紙を制作する。	制作の様子 制作途中の作品
8	●鑑賞	作品を鑑賞	板づくりの技法を中心に成形を行う。 乾燥後、素焼きを行い、その後下絵付、施釉を行い、本焼をする。	
9			お互いの作品を鑑賞する。	完成した作品 ワークシート

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	●革工芸	●革について	練習課題（小銭入れ）を制作し作業の流れと革の特性、道具類の使い方を学ぶ。	ワークシート 課題作品
11	制作	小銭入れ制作		
		自由制作	日常で使う革製品をデザインして型紙を作成する。 牛革を裁断し模様などを作る。 染料で着色しレザーコート剤などで表面を処理する。	デザイン 制作中の作品 制作の様子
12				
1			かがり穴をあけ、ロー引き糸や革紐でかがる。デザインに応じて金具を留める。小口を整えて完成。	
2	●木工芸	●木工について	カトラリーを制作し、作業の流れと木の特性、道具類の使い方を学ぶ。	
		カトラリー制作	電動糸鋸やベルトグラインダーで形を大まかに削り出す。 のみや彫刻刀を用い、形を仕上げていく。	
3	●鑑賞	完成	古代から現代までの工芸作品をプレゼンテーションで鑑賞する	完成作品 ワークシート

3 評価の観点

工芸への関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

4 評価の方法

みなさんの学習状況は、「工芸への関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点から総合的に評価します。（具体的内容：提出作品、授業の取り組み、鑑賞の態度、鑑賞レポート等）

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

工芸はただ伝統的な技法を経験するだけのものではありません。まずは生活の中で工芸がどのように培われてきたか。また今の生活を振り返り、よりよくするために使用する素材、ユニバーサルデザイン、無駄のない工程を工夫しながら制作を考えることから見逃してきた日常生活の潤いを見いだすことができます。